



# 『すしざんまいナイター』 始球式に登場！

すしチェーン大手の「すしざんまい」を展開する株式会社喜代村の木村清社長(64)が、8月14日夜、神宮球場のマウンドに立った。



## 中大OB すしざんまい 木村清 社長

プロ野球で始球式に挑む木村社長  
(写真提供=すしざんまい)

プロ野球ヤクルト—巨人20回戦(神宮)の始球式。この試合は『すしざんまいナイター』として開催された。

マウンドに約3万観衆の目が注がれている。横にはヤクルト先発の館山投手が控える。

社名入りのウインドブレーカー、ズボンにはお守り袋を付けた。名幸球審の右手が挙がって、さあ、投球開始。

### 自己採点は2点

木村社長は「すしざんまい15周年記念のイベントとして行いました。初めてのことでだいぶ緊張しました。ワンバウンドでストライクだったみたいですが、自己採点は2点ですね」と話した。

2点とは厳しすぎるほどの自己採点。『マグロ大王』のニックネームで知られ、正月恒例の築地初競りでは当時史上最高値となった1億5,540万円もの大物マグロを落札。すしネタとして提供するなど顧客を大いに喜ばせている社業に比べたら…という評価なのだろう。

野球ファンには入場時、すしざんまいオリジナルうちわが限定3万枚、プレゼントされた。

木村社長は1979年、中央大学法学部を卒業した。同社HPなどによると、在学中は司法試験合格を目指し勉強する一方、アルバイトで入った水産業で頭角を現し、2001年に「すしざんまい」をオープンさ

せた。

著書「マグロ大王 木村清 ダメだと思った時が夜明け前」(講談社)には、少年期にマグロ2切れを家族4人で分け合ったことや会社を成長させる独自哲学がつづられている。



木村社長、お得意のポーズをヤクルト公認マスコットのつば九郎と一緒に